

自分なりの考え方や表し方を大切にして、  
仲間と共に学び合える生徒になろう。

中学校での学習

中学生になると、小学校での学習と変わることがいくつかあります。

- ・学習する教科により、教えてもらう先生が変わります。
- ・小学校にはなかった教科として、技術・家庭科があります。
- ・保健体育は、男女別で学習します。算数→数学 家庭→技術・家庭科 外国語→英語
- ・教科の名前が変わります。図工↔美術
- ・学期ごとに中間テストと期末テストがあります。

毎日の学習の積み重ねが一番大切です。学習の心がまえをつくっていきましょう。

1. 積極的に学習に取り組むために

- ①3分前には着席し、学習の準備をしましょう。
- ②学習の目標をもって、授業に参加しましょう。
- ③話を聴く時は、話し手の方を向き、自分の考えと比べながら聴きましょう。
- ④進んで挙手をし、自分の考えを仲間に分かるように発表しましょう。
- ⑤宿題はその日のうちにやり終え、次の授業に臨みましょう。

2. ノートを授業に役立てるために

- ①教科によりノートの形式が違うので、教科ごとのオリエンテーションが終わってからノートを購入しましょう。(入学前に購入する必要はありません。)
- ②ノートには、予習、自分の予想、仲間の考え、まとめ、復習等を書き込み、自分の宝物になるようなノートをつくっていきましょう。  
○国語…7mm方眼、5mm方眼(漢字) ○数学…5mm方眼  
○理科…8mm方眼 ○社会…5mm方眼 ○英語…4線、13段

3. 学習用具について

- ①学習に必要な用具を確実に準備しておきましょう。  
シャープペンシル(鉛筆)2~3本、黒ペン、赤ペン、ネームペン、消しゴム、定規、のり、はさみ、下じき
- ②筆記用具はシンプルで使いやすいものにしましょう。必要以上にはもってこないようにしましょう。  
※キャラクターや絵がついたものは、ふさわしくありません。入試などでは使用できません。

4. 計画的に学習をして、テストに臨むために

- ①日頃から学習計画を立て、その計画にそって学習を進めましょう。
- ②提出物を期限内に提出できるように取り組みましょう。
- ③自主学習を行い、弱点を補強しましょう。

5. 学校に置いていってよい物

- 国語：国語便覧、書写の教科書、国語辞典 ○社会：地図帳、資料集(地理、歴史、公民)
- 技術・家庭科：教科書、ファイル ○音楽：教科書、音楽ファイル、コーラスフェスティバル
- 美術：教科書、美術資料、レタリング辞典 ○保健体育：教科書、ノート ○英語：ファイル
- ◆必要時のみ学校に置いていってもよい物  
○習字道具 ○木工道具 ○デザインセット ○彫刻刀 ○竹刀 ○裁縫道具 ○アルトリコーダー
- ※重い道具類は、一日に同時に、持ってきたり持ち帰ったりすることがないように配慮します。